

滝高フロンティアサイエンス通信

滝川高校 SSH 通信 (2018,4,24) SSH・理数科 第 1 号 ①

滝川高校は平成25年度から Super Science High School (SSH) としての教育活動を行っています

1 SSHとはどんな取組ですか？

文部科学省が指定するスーパーサイエンスハイスクール (SSH) とは、未来を担う科学技術系人材を育てることをねらいとして理数教育の充実を図る取組です。

2 SSH事業の指定校はどのくらいありますか？

SSH 指定校は全国で約 200 校あり、道内では滝川高校、岩見沢農業高校を含めた 10 校が指定されています。

3 今年の滝川高校のSSHは？

本校では昨年度5年間の指定期間を終了し、今年度はさらに 1 年間指定期間延長のSSH校に採択されました。次年度以降は継続して5年間の指定校へ申請予定です。

4 滝川高校でのSSHのテーマは何ですか？

本校では、メインテーマを “Takiko Frontier Science” 「環境共生」と定めて、先進的な理数教育プログラムを構築し、特に持続可能な社会の形成に貢献し、国際社会で活躍する人材を育成します。

5 滝川高校でのSSHの研究開発の特徴は何ですか？

(1) 持続可能な社会の形成に貢献する科学技術系人材を育てる本校独自のプログラム「滝川メソッド」の開発ではつぎのような活動に力を入れます。

- ①教育活動全般を通してことばにして表す学習活動に重点をおいて、考える力を養います。
- ②探究活動を重視して全校で課題研究に取り組みます
- ③地域で連携し地域創生、共創の機会を計画しリーダー育成に力を入れます。
- ④教科横断的な授業やHR活動、学校行事の機会を活用します。
- ⑤地域資源の特色を積極的に活用します。例えば・・・

(ア) 石狩川流域の豊かな自然環境、(イ) 国際田園都市、

(ウ) 高校生が地域創生の担い手として活躍できる地方中小都市 (コンパクトシティ)

(2) 本校独自のプログラム「滝川メソッド」で育てる目指す人材に必要な8つの力と3つの素養

【8つの力】

- | | | | |
|------------|--------------|---------------|-----|
| ①言語を活用させる力 | ②知識・情報を活用する力 | 基礎力 | |
| ③課題を見出す力 | ④課題を解決する力 | ⑤自ら振り返り変容させる力 | 思考力 |
| ⑥挑戦する力 | ⑦議論する力 | ⑧他者と協働する力 | 実践力 |

【3つの素養】

- ①環境共生の視座 ②科学的な視点 ③国際的な視野



〔植松電機缶サット実習：本校グラウンドを会場に
初めて行われたロケットの打ち上げ実験！！〕

滝高フロンティアサイエンス通信

滝川高校 SSH 通信 (2018,4,24) SSH・理数科 第 1 号 ②

6 具体的な SSH 関連授業はどんなものがありますか？

- (1) フロンティアサイエンスⅠ～Ⅲ (課題研究基礎を学び、グループ研究に取り組みます) 理数科
- (2) 総合探究Ⅰ～Ⅲ (課題研究基礎を学び、グループ研究に取り組みます) 普通科
- (3) ライフサイエンスA、B (地球環境と北海道学、生活科学と環境共生を学びます) 理数科

7 SSH は理数科のみの取組ですか？

理数科が活動の中心になることが多いですが、今年から普通科でも課題研究に取り組みます。特別講演や道外研修、SSアクションチームの活動など普通科も含めて、全校的な取組を行っています。

8 SSH の特色的な取組にはどんなものがありますか？

- (1) 課題研究とその発表会
- (2) フィールドワークを中心とした校外研修
- (3) 大学や企業を訪問しての協働学習プログラム研修
- (4) 研究者を招いての特別授業 (講演)
- (5) 全国SSH校研究発表大会参加 (他、各種学会、研究会参加)
- (6) 課題研究とその発表会
- (7) 英語での発表会
- (8) 道外研修 (冬季休業中、東北コース)
- (9) 海外研修 (夏季休業明け、マレーシア)



[海外研修 (マレーシア)]

昨年度までの取り組みの様子



[空知川水質調査実習]



[マガン観察：宮島沼環境調査実習]



[サイエンスデー]



[道外研修 (東北 海洋実習)]



[各種研究発表会]

*SSHに関するご意見、ご質問等はいつでも受けています。SSH担当：長澤・菊池までお願いします。(23-1114)